



～「学校運営協議会」と「地域学校協働活動」の一体的推進～



令和6年度
第2回学校運営協議会代表者会議

令和7年2月25日（火）
18:00～19:00

9つのコミュニティ・エリアによる
Web合同会議

岩見沢市教育委員会



岩見沢市の教育について

学校教育 の推進

- 新しい時代に対応できる力の育成
- 豊かな人間性と健やかな体を育成する教育の推進
- 育ちと学びを支える教育環境の充実
- 信頼と期待に応える開かれた学校づくり

子どもが「煌めく」
学校教育の推進

「よい地域」には「よい学校」があり、
「よい学校」をつくることで「よい地域」が形成される

授業づくり

CA構想

未来のトビラを拓く、
教育のまち 岩見沢

～地域とともにある学校を目指して～

光陵中
校区

コミュニティ・スクールの基本理念

「いい学校」は「いい地域」によって作られ、
また、「いい学校」を作ろうと学校・家庭・地域が
協働することで「いい地域」も生まれる

コミュニティ・スクールのコンセプト

地域とともにある学校づくり

- 学校の応援団として機能するコミュニティ・スクールの地
- 学校・家庭・地域総掛かりで子どもを育てる仕組みづくり
- 地域コミュニティセンターとして活用する環境づくり



振り返りのポイント①

1年間の活動により、「応援団」となっていたただける方々が、**地域には多くいらっしゃる！**

地域と学校の協働体制の構築に向けた法改正（地教行法、社教法）

改正の概要（平成29年4月施行）

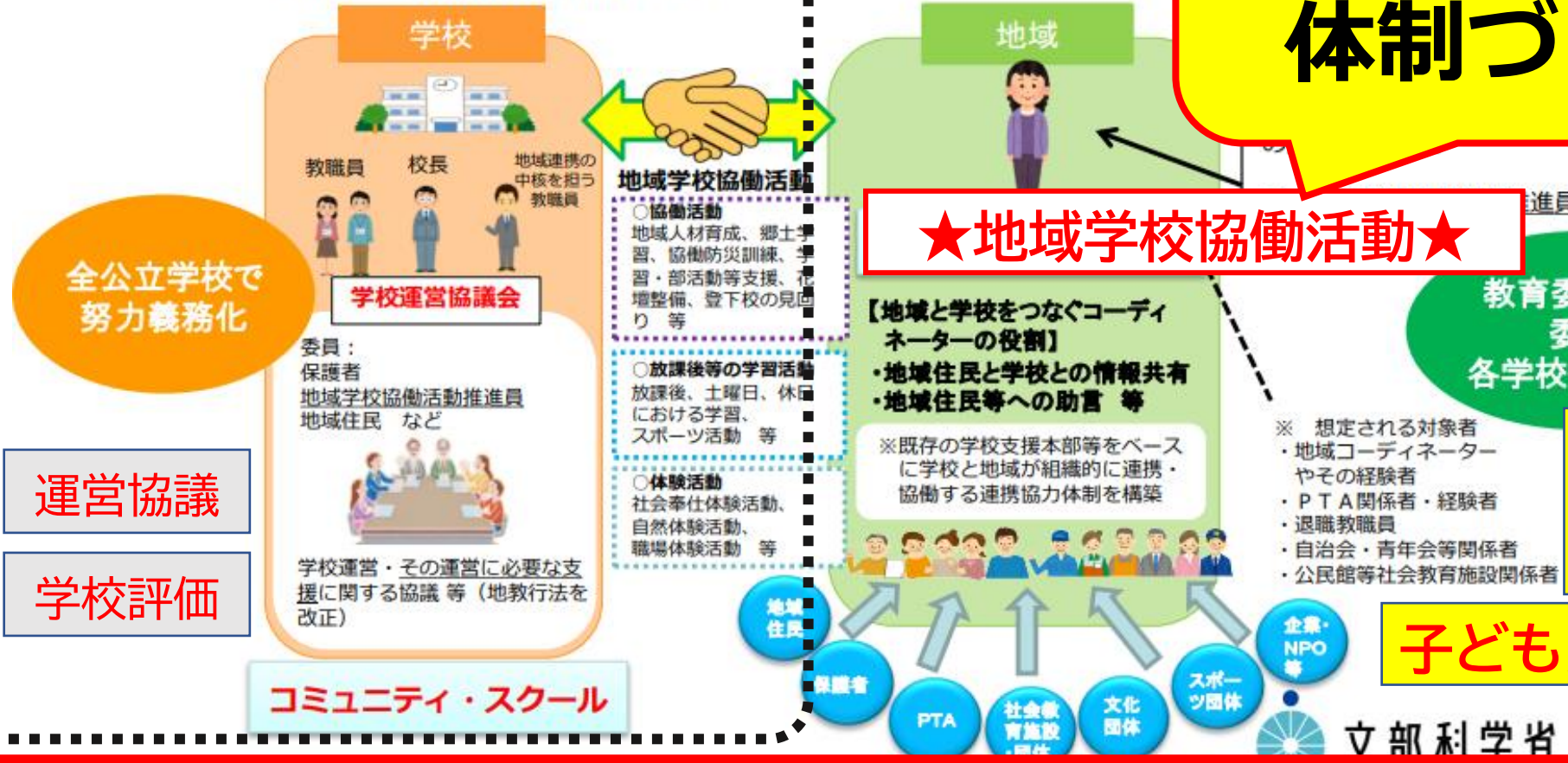
平成27年12月の中教審答申（地域と学校の連携・協働）を受け、地方教育各教育委員会に、保護者や地域住民が学校運営に参画する仕組みである学校運営協議会が連携・協働し、幅広い地域住民や保護者等の参画により地域全体で子供が学ぶ活動（地域学校協働活動）を全国的に推進するため、社会教育法を改正し、同活動に関する連携に関する規定を整備。これらにより、幅広い地域住民等の参画を得て、社会教育の充実を図る。

「応援団」
を継続できる
体制づくり

これまでの「コミュニティ・スクール」

これからの「コミュニティ・スクール」

＜地域と学校の協働体制のイメージ＞



学びによるまちづくり・ 地域課題解決型学習・郷土学習

- ◆ 地域資源を理解し、その魅力を伝えたり、地域活性化のための方策を考え、実行する学習活動
- ◆ 「ふるさと」について地域住民から学び、自ら地域について調べたり発表したりする学習活動
- ◆ 地域の産業や商店街の職場体験学習、郷土の伝統・文化芸能学習 など



子どもが地域のよさを理解

学校に対する多様な協力活動

- ◆登下校の見守り、花壇や通学路等の学校周辺環境の整備、子供たちへの本の読み聞かせ、授業の補助や部活動の支援、企業等による出前授業等の教育プログラムの提供（土曜学習応援団）など



地域の皆様の「技・知恵」

地域全体で子どもを育む

地域の行事、イベント、お祭り、ボランティア活動等への参画

- ◆地域イベントにおけるボランティア体験学習、
伝統行事やお祭りでの伝統文化・芸能の発表や
楽器の演奏、地域の防災訓練への参画 など



**子どもたちが主体となった
取組として、この後、
各エリアから紹介!**

「応援団」
～その3～

よりよい地域

地域全体の活性化

地域と学校の協働体制の構築に向けた法改正（地教行法、社教法）

改正の概要（平成29年4月施行）

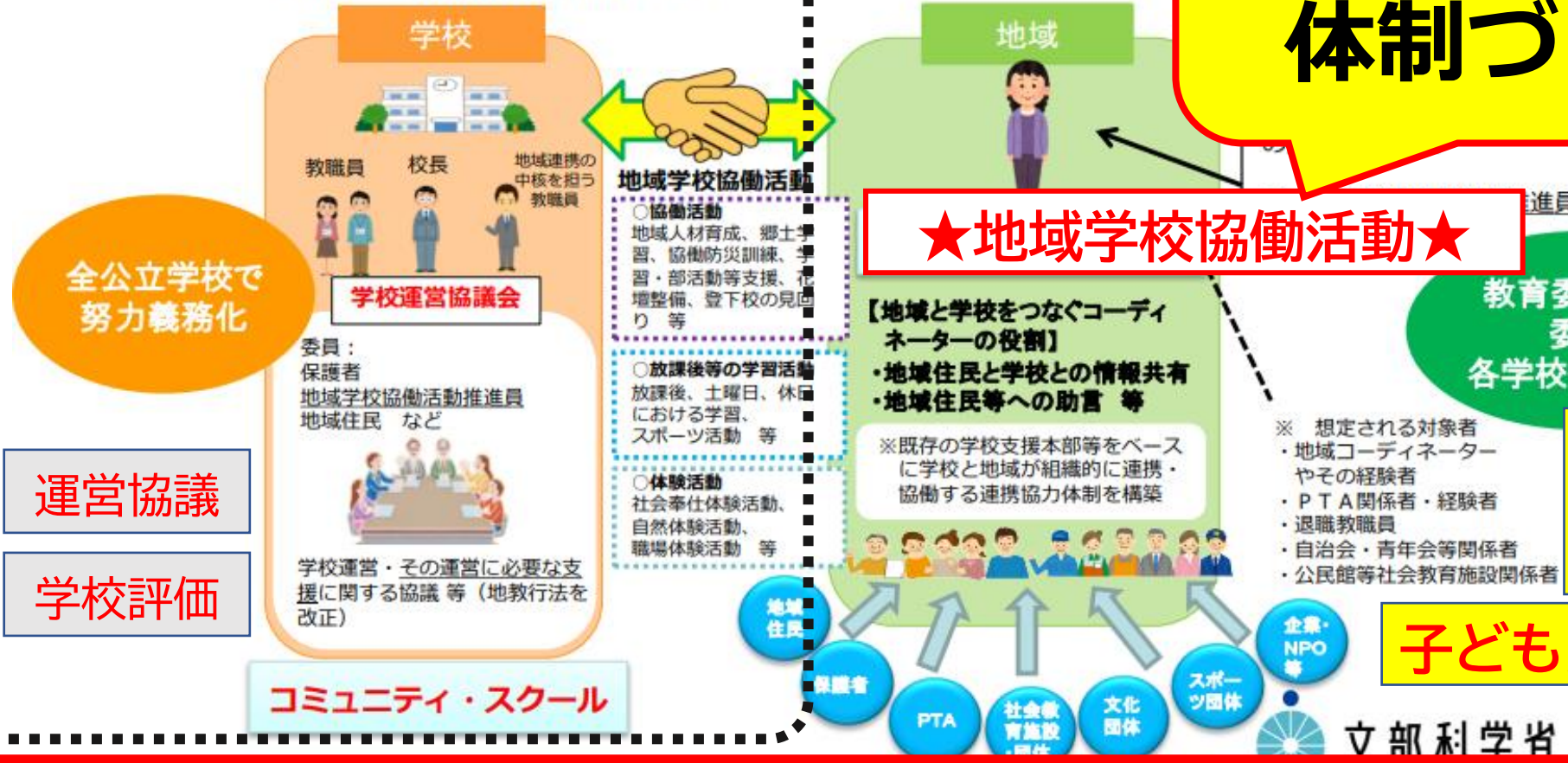
平成27年12月の中教審答申（地域と学校の連携・協働）を受け、**地方教育各教育委員会に、保護者や地域住民が学校運営に参画する仕組みである学校運営協議会が連携・協働し、幅広い地域住民や保護者等の参画により地域全体で子供が学ぶ活動**を全国的に推進するため、**社会教育法**を改正し、同活動に関する連担に関する規定を整備。これらにより、幅広い地域住民等の参画を得て、社会

「応援団」
を継続できる
体制づくり

これまでの「コミュニティ・スクール」

これからの「コミュニティ・スクール」

＜地域と学校の協働体制のイメージ＞



地域と学校の協働体制の構築に向けた法改正（地教行法）

改正の概要（平成29年4月施行）

子どもが「煌めく」
学校教育の推進

の中教審答申（地域と学校の連携・協働）を受け、地方教育
保護者や地域住民が学校運営に参画する仕組みである学校運
、幅広い地域住民や保護者等の参画により地域全体で子供
に推進するため、社会教育法を改正し、同活動に関する連
備。これらにより、幅広い地域住民等の参画を得て、社会

振り返りのポイント①

「応援団」
を継続できる
体制づくり

振り返りのポイント②

これまでのコミスクに
とどまっていらないか？
（形骸化）



これからの「コミスク」

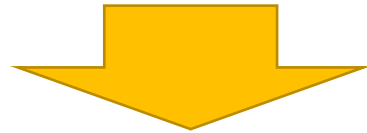
この後の事例発表をとおして

【振り返り①】

「学校の応援団」を継続していく体制づくりのために

【振り返り②】

「地域」も「学校」も、もっとよくなるために



事例発表



質疑応答



次年度へ